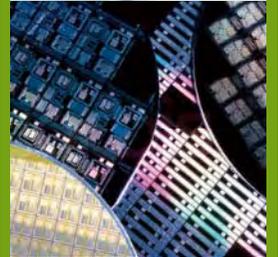




ミライアル株式会社 2012年1月期 第3四半期決算説明資料

2011年12月9日



Mirai ミライアル株式会社



目次

2012年1月期 第3四半期累計期間決算概要.....	2
2012年1月期 第3四半期会計期間決算概要.....	9
2012年1月期業績予想	13
弊社を取り巻く業界環境	15
今期の施策	18



2012年1月期 第3四半期累計期間決算概要

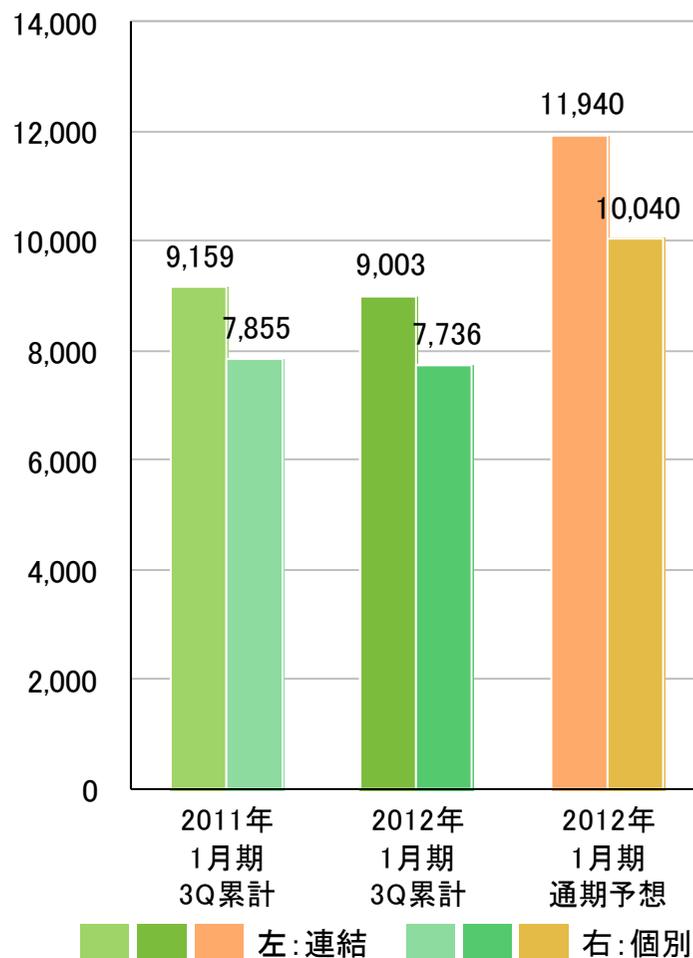


1. 売上高/経常利益の比較(連結)

- 売上高は、プラスチック成形事業にて、東日本大震災の影響はあったものの、積極的な拡販施策に努めましたが、微減となりました。その結果、前年同期比3.2%減となりました。
- 経常利益は、プラスチック成形事業における顧客のコスト削減要請や原材料の高騰等を主な要因として、前年同期比29.2%減となりました。

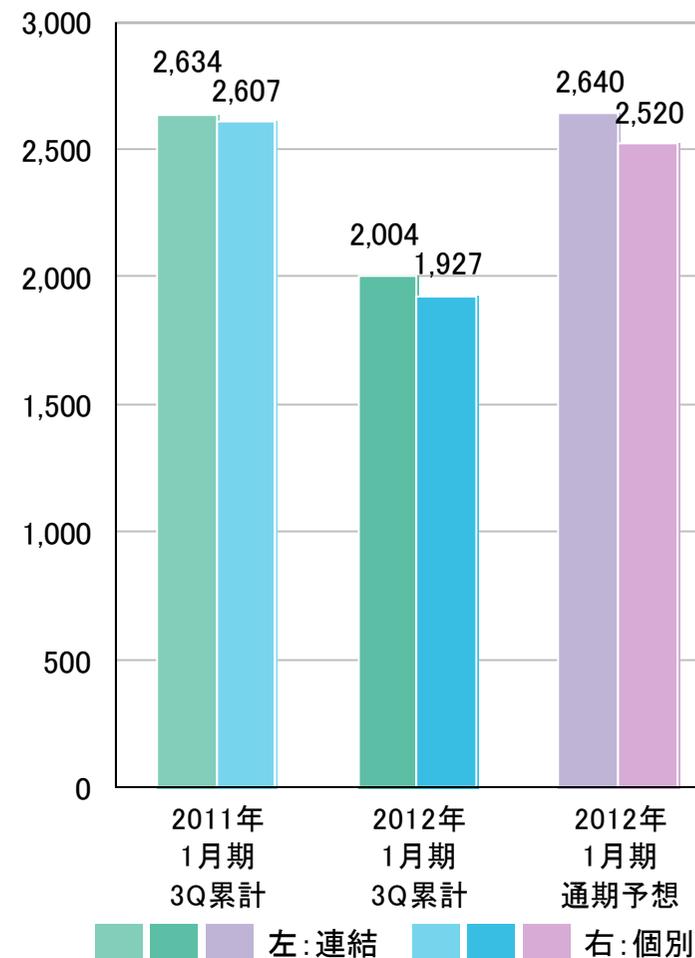
売上高(連結・個別)

(単位:百万円)



経常利益(連結・個別)

(単位:百万円)





2. 2012年1月期 第3四半期累計期間決算概要

連結業績

(単位:百万円・%)

	2011年1月期 第3四半期累計		2012年1月期 第3四半期累計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	9,159	30.1	9,003	△1.7
売上総利益	3,868	68.6	3,313	△14.4
営業利益	2,410	147.5	1,849	△23.3
(営業利益率)	26.3		20.5	
経常利益	2,634	124.0	2,004	△23.9
税引前当期純利益	3,011	315.1	1,917	△36.3
当期純利益	1,915	323.6	1,024	△46.5
設備投資	61		40	
減価償却	447		348	
純資産	15,367		15,976	
総資産	20,476		20,180	

個別業績

(単位:百万円・%)

	2011年1月期 第3四半期累計		2012年1月期 第3四半期累計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	7,855	26.5	7,736	△1.5
売上総利益	3,539	60.8	2,914	△17.7
営業利益	2,506	97.2	1,865	△25.6
(営業利益率)	31.9		24.1	
経常利益	2,607	93.7	1,927	△26.1
税引前当期純利益	2,808	183.0	1,889	△32.7
当期純利益	1,706	209.8	1,097	△35.7
設備投資	37		18	
減価償却	418		320	
純資産	15,022		15,774	
総資産	18,862		18,878	

3. 事業別売上高の比較

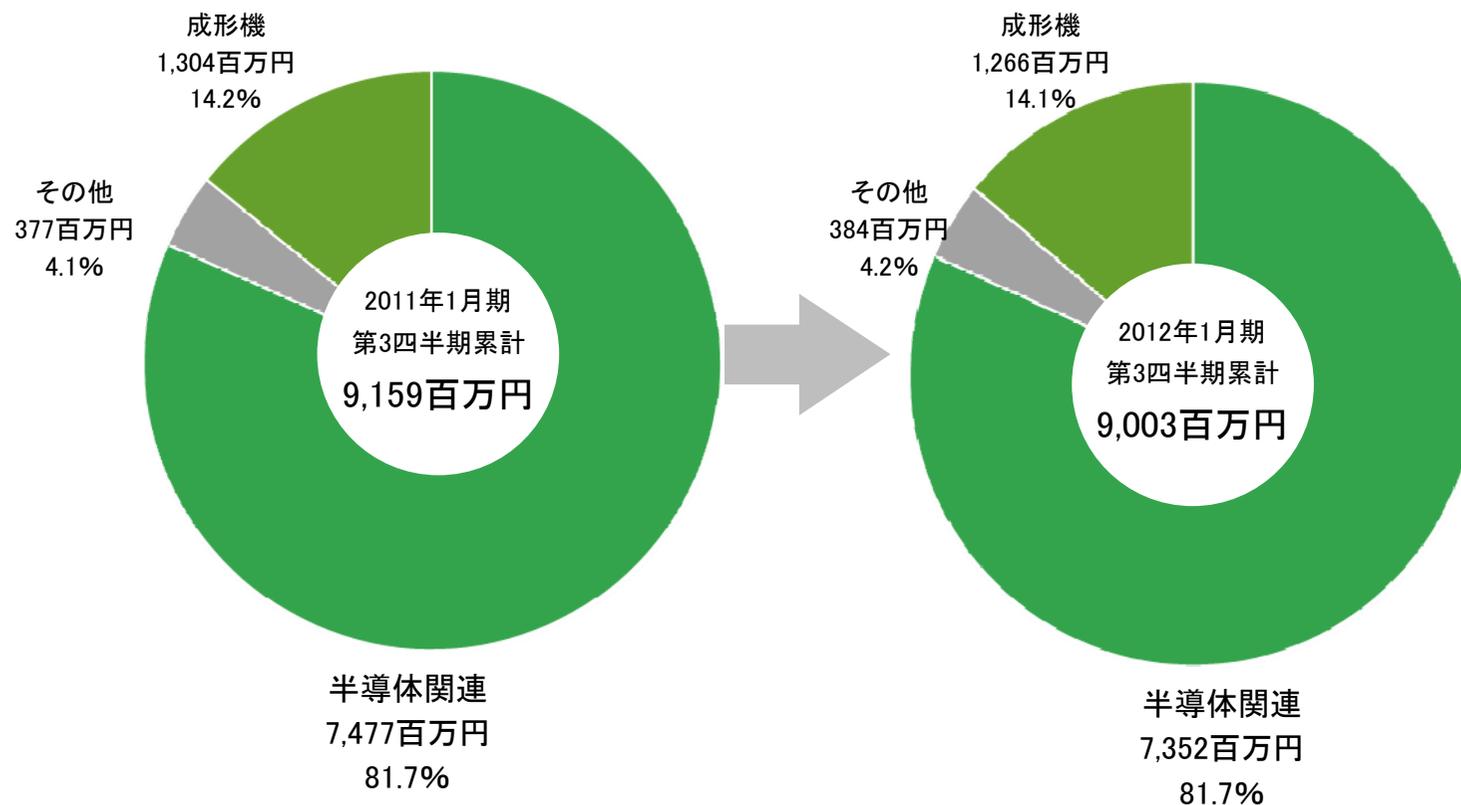
事業別売上高(連結)

■ プラスチック成形事業

- 半導体関連事業は、1.5%減の73億52百万円。
- その他事業は、1.9%増の3億84百万円。

■ 成形機事業

- 成形機事業は、2.9%減の12億67百万円。

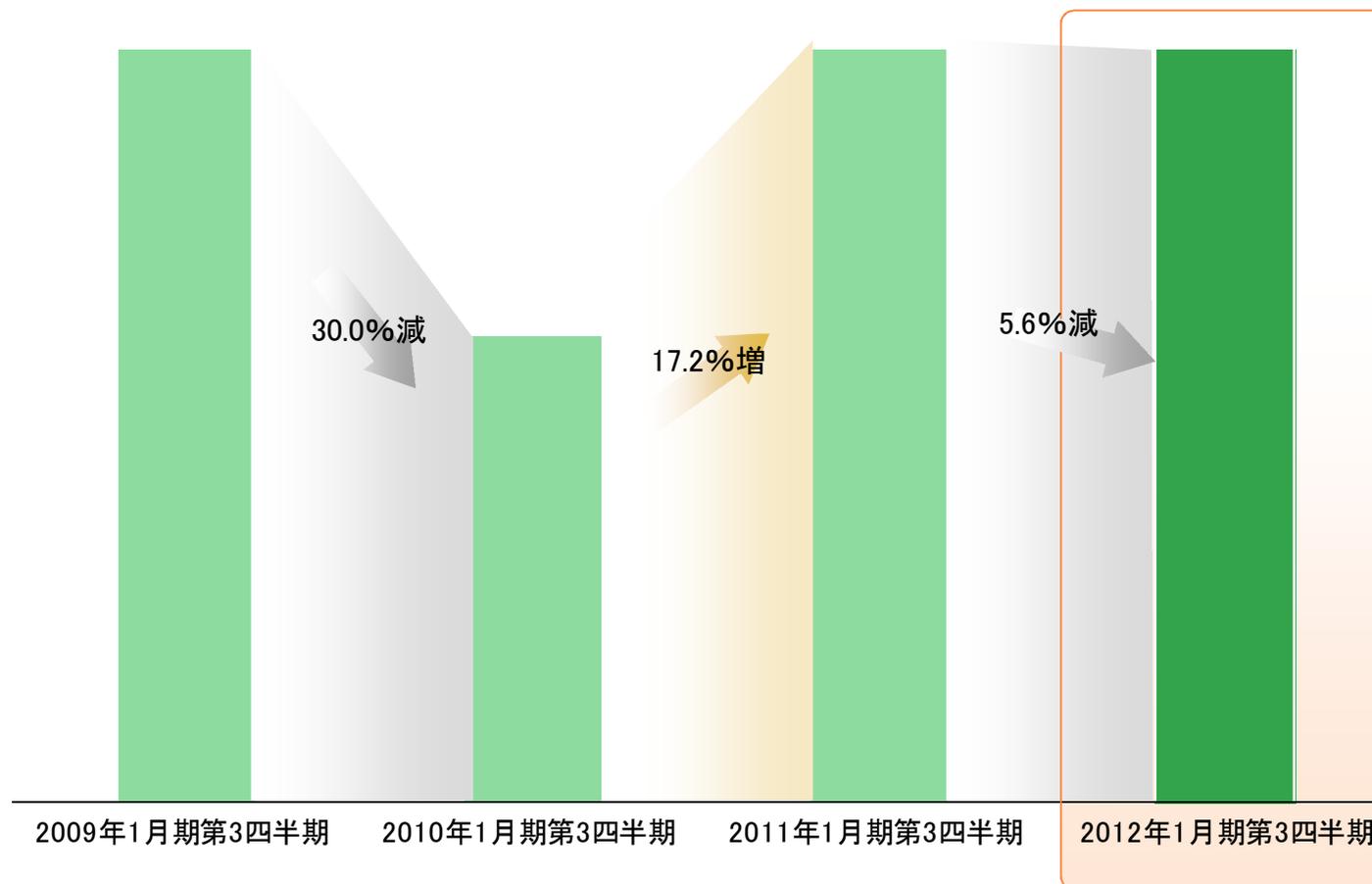




4. 半導体関連製品事業の業績

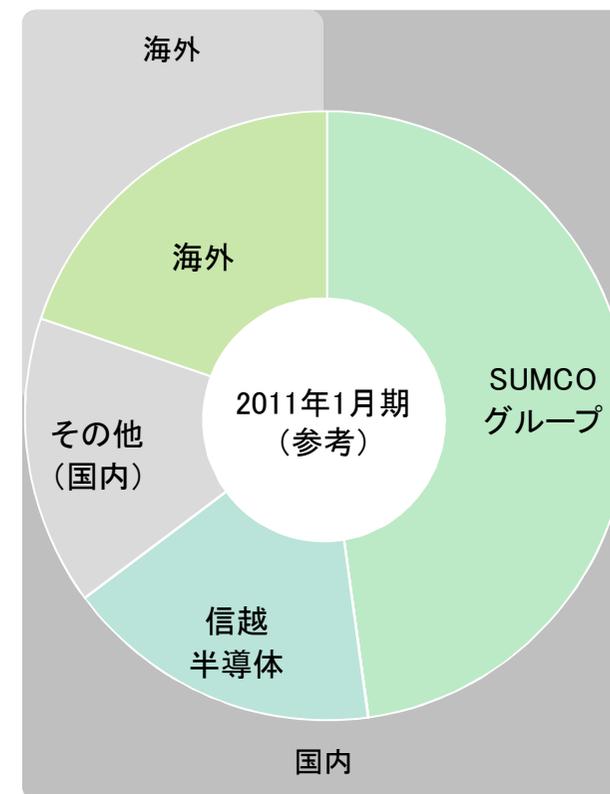
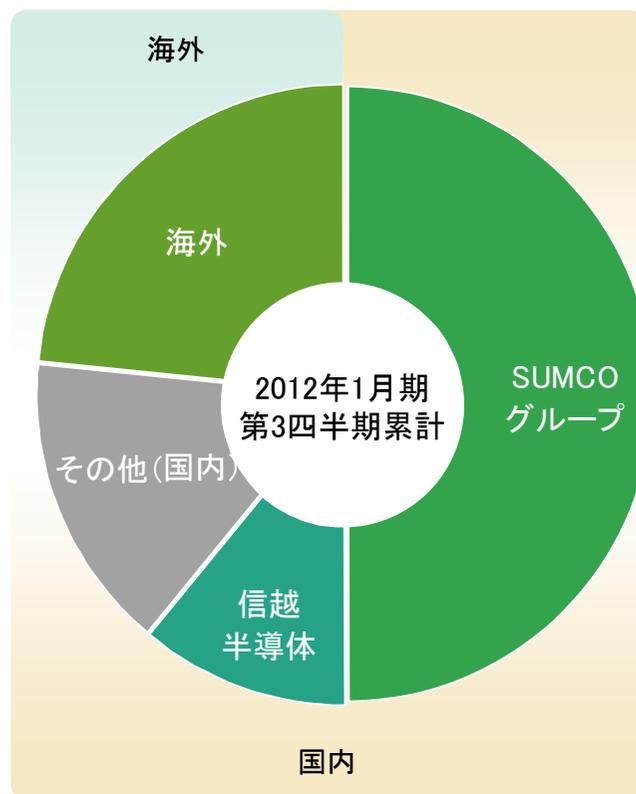
- 出荷容器は前年同期比5.6%減、工程内容器は、前年同期比36.7%増となっております。

シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移



5. FOSB出荷実績得意先別シェア

弊社FOSB出荷実績得意先別シェアの動向





(ご参考) キャッシュフロー(連結)

キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2011年1月期 第3四半期累計	2012年1月期 第3四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュフロー	2,157	1,362	△795
投資活動によるキャッシュフロー	△395	△2,659	△2,263
財務活動によるキャッシュフロー	△892	△1,057	△165
有利子負債減少	0	△450	△450
配当金支払	△607	△607	3
現金及び現金同等物期末残高	7,274	5,081	△2,193

- 投資活動によるキャッシュフロー△2,659百万円は、主に3ヶ月超1年未満の定期預金に振り替えたことによる減であります。



2012年1月期 第3四半期会計期間決算概要

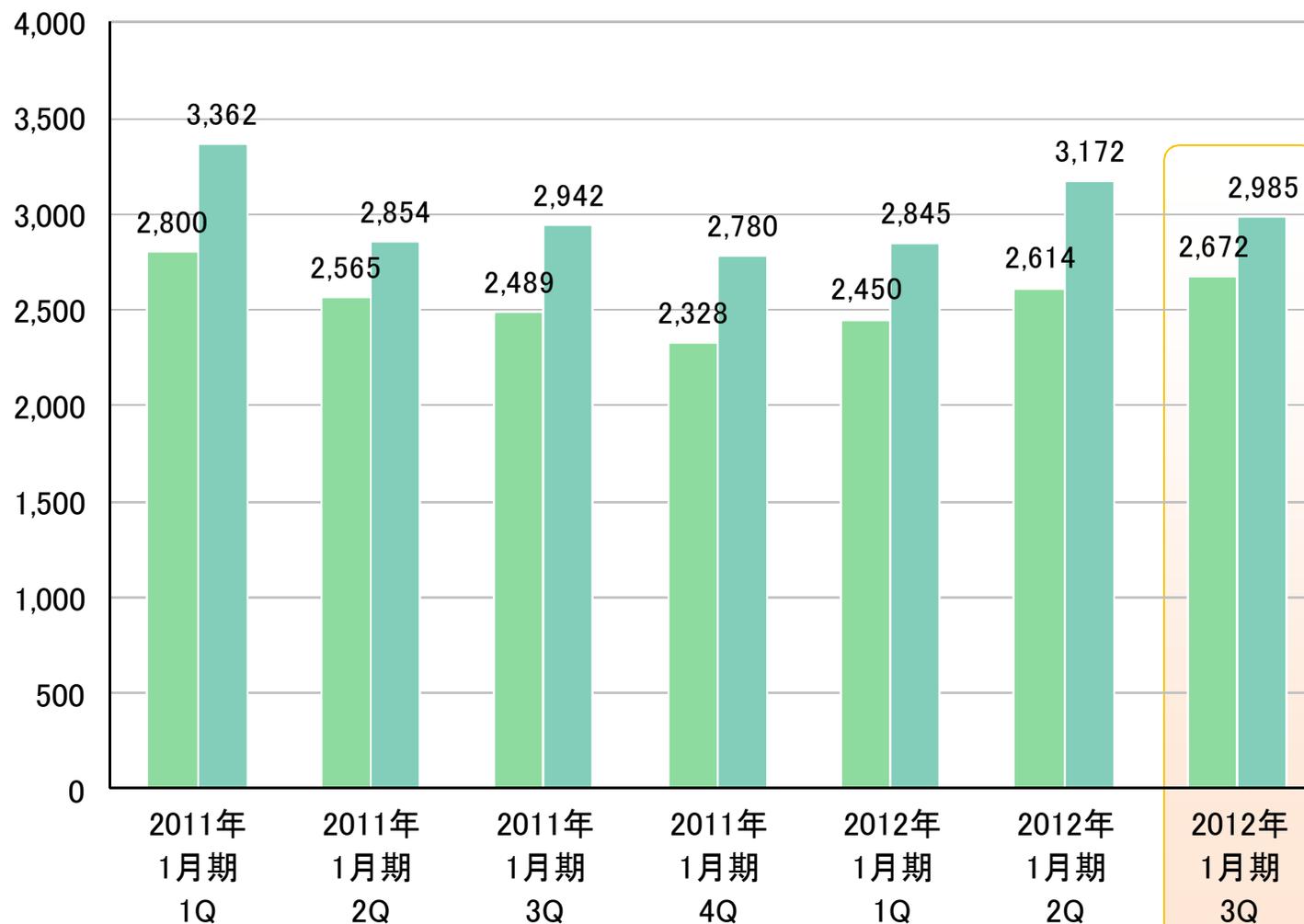


1. 業績ハイライト

- 連結売上高は、2Qから5.9%減の29億85百万円でした。
- 個別売上高は、2Qから2.2%増の26億72百万円でした。
- ミライアル単体は、主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」において、顧客の震災の影響から早期回復により販売先の変動はありましたが、数量は回復し、売上は堅調に推移しました。
- 連結子会社の(株)山城精機製作所は、震災の影響により、企業の設備投資が鈍化している影響を受けております。このような中、前期からの収益改善策と積極的な営業施策を実施しましたが、売上高、営業利益ともに低調となりました。

売上高推移(四半期毎)

(単位:百万円)



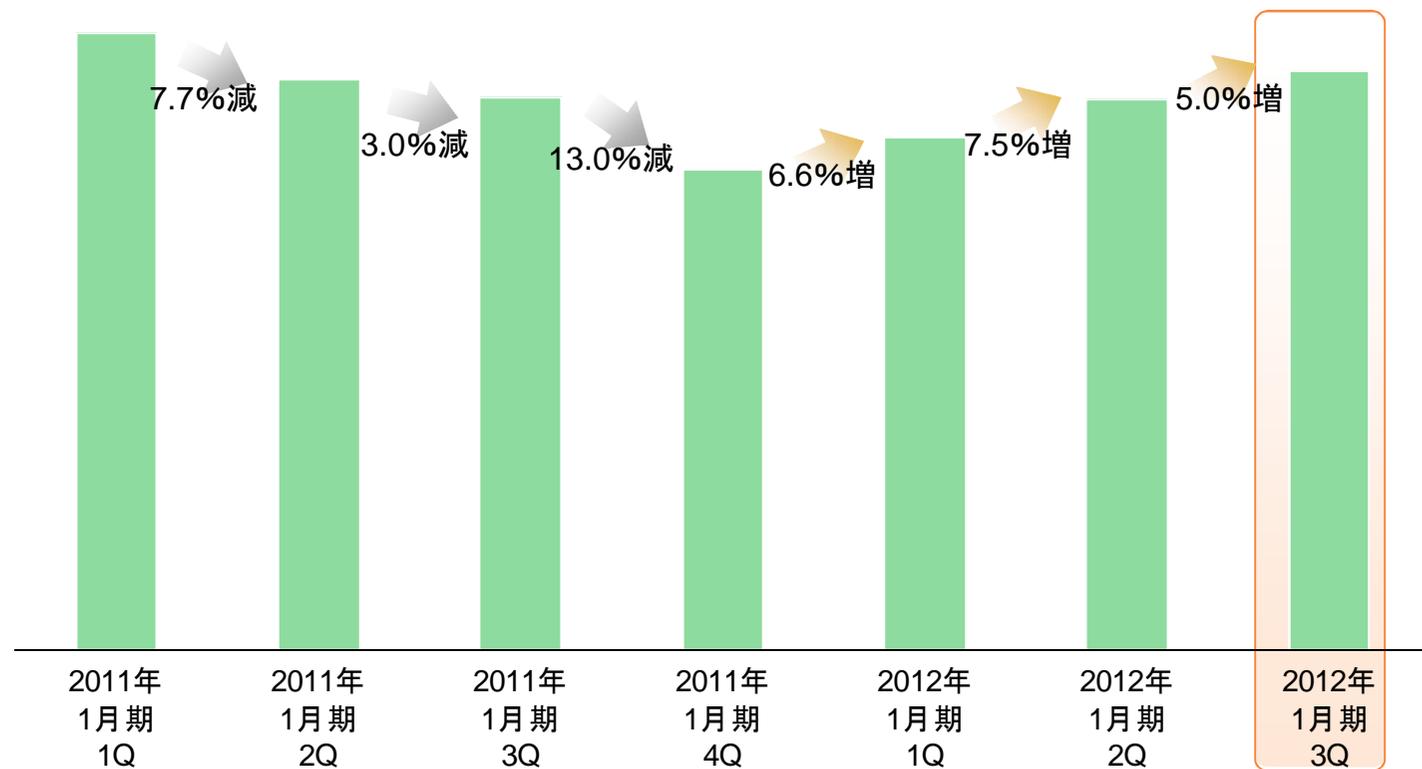
■ 個別 ■ 連結



2. 半導体関連事業の業績

- 出荷容器は、2Qから5.0%増となっております。

シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移(四半期毎)





3. 2012年1月期 第3四半期会計期間決算概要

連結業績

(単位:百万円・%)

	2011年1月期 第3四半期		2012年1月期 第3四半期	
	金額	前四半期 増減率	金額	前四半期 増減率
売上高	2,942	3.1	2,985	△5.9
売上総利益	1,181	△2.8	1,143	△0.9
営業利益	714	1.2	668	0.5
(営業利益率)	24.3		22.4	
経常利益	740	△1.3	663	△16.9
税引前当期純利益	760	△16.3	633	△19.0
当期純利益	484	△21.8	378	△15.3
設備投資	22		19	
減価償却	153		122	
純資産	15,367		15,976	
総資産	20,476		20,180	

個別業績

(単位:百万円・%)

	2011年1月期 第3四半期		2012年1月期 第3四半期	
	金額	前四半期 増減率	金額	前四半期 増減率
売上高	2,489	△3.0	2,672	2.2
売上総利益	1,092	△5.8	1,013	△0.3
営業利益	760	△3.7	684	3.5
(営業利益率)	30.6		25.6	
経常利益	757	△5.3	651	△14.4
税引前当期純利益	758	△5.0	651	△12.2
当期純利益	479	0.3	391	△5.0
設備投資	21		6	
減価償却	142		112	
純資産	15,022		15,774	
総資産	18,862		18,878	



2012年1月期業績予想



1. 業績予想

損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2011年1月期		2012年1月期(予)			
			2012年1月期 第3四半期累計			
	金額	前期増減率	金額	前期増減率	金額	前期増減率
売上高	11,939	22.6	9,003	△1.7	11,940	0.0
営業利益	2,911	76.0	1,849	△23.3	2,440	△16.2
経常利益	3,179	63.7	2,004	△23.9	2,640	△17.0
(当期)純利益	2,191	129.8	1,024	△46.5	1,440	△34.3

事業別売上高

(単位:百万円・%)

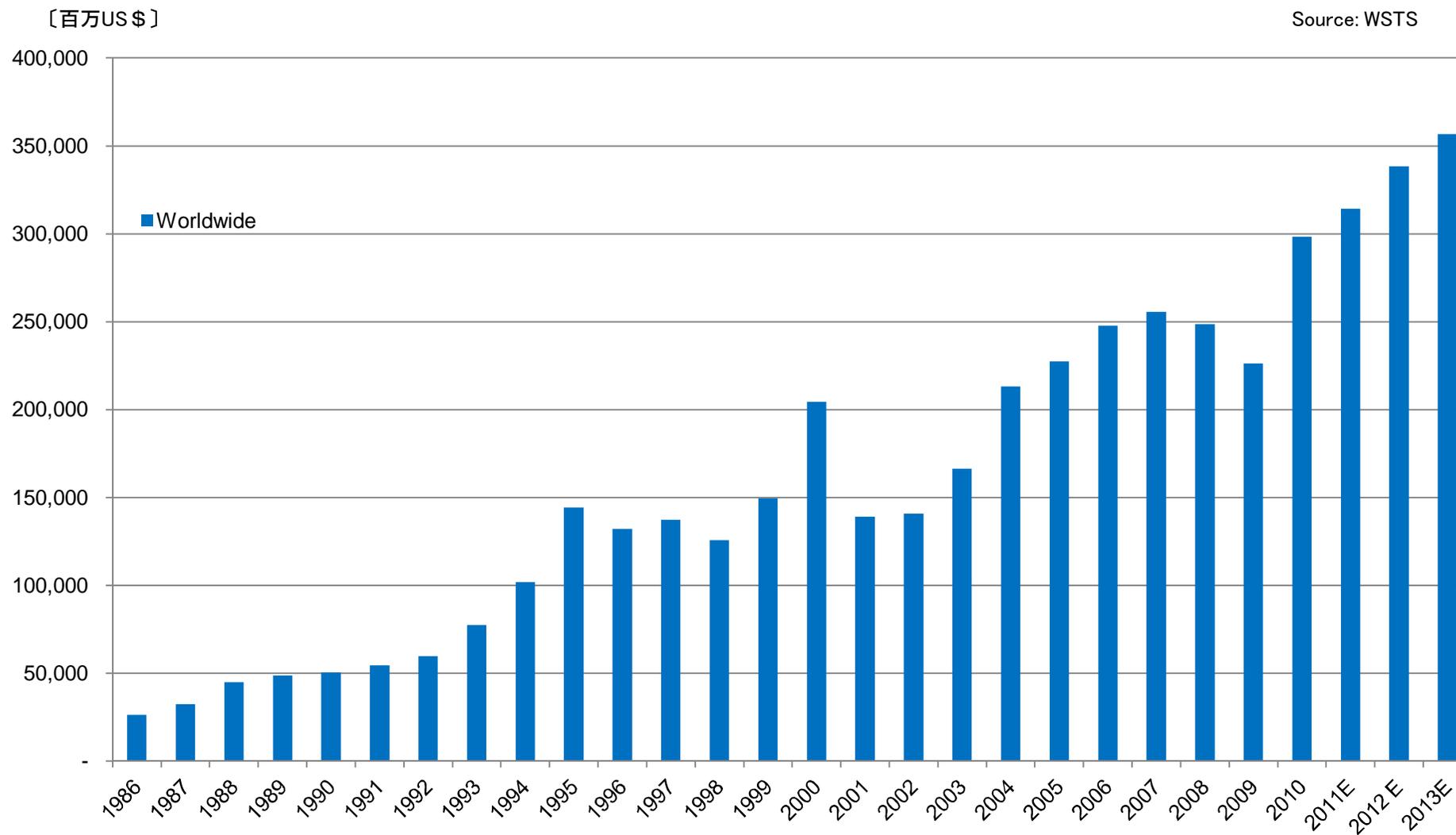
	2011年1月期			2012年1月期(予)					
				2012年1月期 第3四半期累計					
	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率
プラスチック成形事業	10,184	85.3	19.4	7,736	85.9	△1.5	10,040	84.1	△1.4
半導体関連	9,697	81.2	17.9	7,352	81.6	△1.7	9,510	79.7	△1.9
その他	486	4.1	58.1	384	4.3	1.9	530	4.4	8.9
成形機事業	1,755	14.7	45.6	1,266	14.1	△2.9	1,900	15.9	8.2
合計	11,939	100.0	22.6	9,003	100.0	△1.7	11,940	100.0	0.0



(ご参考) 弊社を取り巻く業界環境

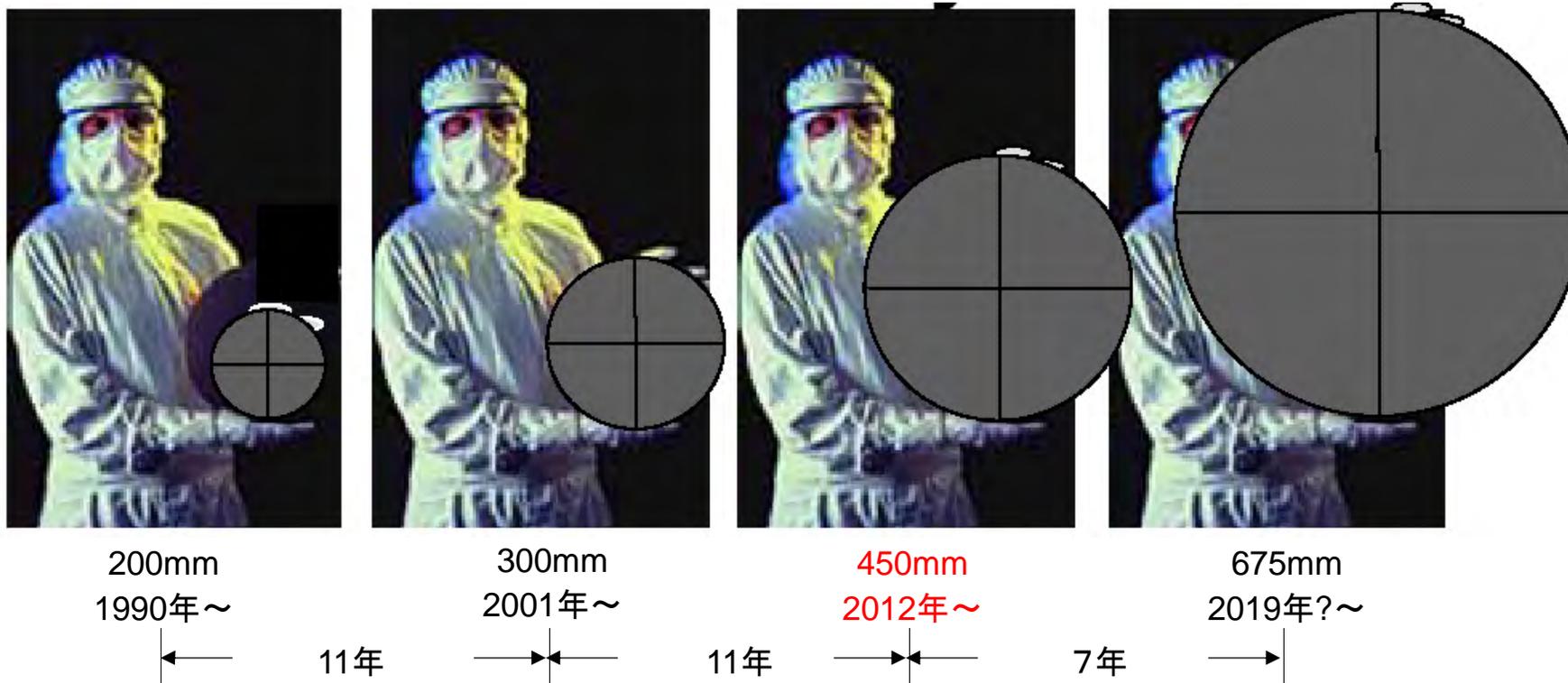


世界半導体市場推移





450mm製品のデファクトスタンダード化を実現し 次世代製品戦略を優位に進める



出典:ITRS

- ①450mm設備投資本格化 10億～12億(来年1月より)
- ②成形による試作品 来年秋頃予定



(ご参考) 今期の施策



今期の方針

半導体関連事業

- ① 現存事業の安定化・売上拡大
- ② 新製品・新事業へのチャレンジ強化

成形機事業

山城精機の重点施策



製品戦略

現存事業の安定化

製品戦略

- 更なるコストダウンと品質向上への取り組み
- FOSBシェアの維持
- 450mmシリコンウエハ容器開発の推進

合理化戦略

- 容器事業以外製品の収益改善(低利益率製品の改善)
- FOSBリユースの対応準備



販売強化策

現存事業の売上拡大に向けた営業戦略

1

シリコンウエハメーカーへの積極的なアプローチ

品質維持・向上とコスト削減による競争力の強化

2

デバイスメーカーへの営業フォロー強化

半導体業界へのマーケット拡販

3

製・販・技一体となった高利益率製品の販売拡大



新製品・新事業戦略

新製品・新事業へのチャレンジ強化

新製品開発への積極投資

- 新規事業創出体制強化のため、事業開発室の新設

精密成形技術等への展開

- 山城精機製作所とのシナジー効果創出

半導体業界への拡販

- 後工程への展開、当社の派生技術での事業展開

多角化のための 新分野展開



山城精機の重点施策

「縦型機のNo.1メーカー」への 取り組み

- シェアアップ
 - 汎用成形機、LIM成形機、圧縮・トランスフアー成形機
- No.1商品の創出
 - 新成形システムの開発企画推進

高効率生産体制の構築

- 少数精鋭での増産体制を構築
- 価格競争力を高め利益を極大化



本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 経理部

電話: 03-3986-3782 FAX: 03-3986-3853 E-Mail: investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。